

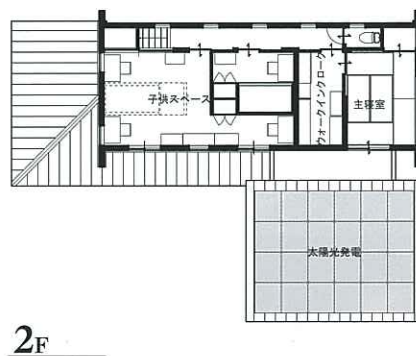
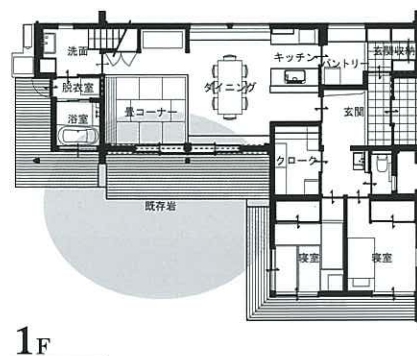
上之町の家 - 岩 (I・W・A) を囲む家 -

設計者 / ATELIER N
施工者 / 株式会社オムニバス

設計趣旨 CONCEPT

昔ながらの近所付き合いも続く、長年暮らし続けた土地。浅間山噴火の時に飛んできたとされる『岩』を囲むよう建つ住まい。
【(I) 居心地の良い、(W) 和、笑い、(A) 集まる、明るい】家の中でも (I・W・A) を囲み、家族で食卓を囲む…。そんな三世代8人大家族が暮らす家を提案。
家の中心には、自然と家族が集るような居心地の良いリビングダイニングを『岩』を囲むよう配置。南側の開口は引込み可能な建具にすることで室内空間とデッキスペース、外部空間 (岩) とが一体となり、さらに視覚的な抜けにより広がりを感じられる。将来の間取りの変更にも対応できるよう、限られた空間に立体的な間仕切り家具 (2段ベッド) により4人の子供達のスペースを確保。軒の出による日照のコントロール・通風等の自然エネルギーを計画的に取り込み、また、構造材、仕上げ材は自然素材を中心とし、人にも環境にも優しい“住み継がれる家”を目指した。

平面図



高崎 江木町の家

設計者 / 株式会社小林建設一級建築設計事務所
施工者 / 株式会社小林建設

設計趣旨 CONCEPT

高崎駅近くの住宅地に建つ4人家族の住まいです。敷地は南側道路で、正面がT字路に位置するため、いかにプライバシーを確保するかが課題となりました。リビングの開口部には、通風雨戸と呼ばれる、可動ルーバーのついた雨戸を設置し、視線を遮りながらも通風を得られるよう配慮しています。夏場の夜間採風にも利用できるため、冷房負荷を軽減する効果が期待できます。また、南側の庭は中庭のように設け、空洞レンガの塀で囲うことで道路からの視線を和らげ、庭とリビングが繋がるような外構計画としています。

内部では、天井が低い場所に居心地の良さを感じるお施主様であったため、可能な限り天井高さを低く設定し、落ち着いた空間づくりを徹底しました。リビングダイニングと、寝室、子供室は緩い傾斜の勾配天井をすることで、空間に変化をつけ、低い中でも閉塞感を感じないように配慮しています。

間取りでは、インナーガレージを起点とした回遊性のあるプランとなっています。ガレージから土間納戸、クローゼット、和室という動線、ガレージから玄関、リビングへ入る動線を2種類設けています。外部は、内部の空間と連動して、階高が低く抑えられています。南側の軒出はできる限り長く伸ばし水平ラインを利かせ、低いプロポーションと合わさった、美しい佇まいの外観をつくることができました。冬場の暖房には、日射量の多い群馬県の気象条件を最大限利用するため、「OMソーラーシステム」を採用し、太陽熱を利用した床暖房をメインの暖房としています。

構造材にはぐんまの県産材を利用し、内部はすっきりとした現代風の木の家、外部は南の軒出を深くした民家のような佇まいを持った「ぐんまの家」が完成しました。



平面図

